

2011年度 いちかわTMOアドバンス修了発表

「おもてなし街project」

～あなたのお店やイベント、もっと来客数を増やしませんか？



2012.1.30 中川潤一

目次

おもてなし街 project

主旨

高齢になっても安心

2012.1.30 中川潤一



おもてなし街 project

自己紹介

建築 × 介護

2012.1.30 中川潤一



おもてなし街 project

きっかけ

行きにくい店がある

2012.1.30 中川潤一



おもてなし街 project

現状の分析

それぞれの事情

2012.1.30 中川潤一



おもてなし街 project

何をするか

hard と soft の両面

2012.1.30 中川潤一



おもてなし街 project

実施計画

賑わいの触媒になる

2012.1.30 中川潤一



もっと**高齢者の過ごしやすい街**
にするために、
ハードとソフトの両面で
“街力”をUPしていきたい。



中川潤一 1級建築士、社会福祉主事、福祉用具専門相談員

1976 : 東京都江戸川区北小岩生まれ

1989 : 市川市立鶴指小学校卒業

1995 : 東邦中学・高校卒業

2002 : 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了

2003 : 有限会社老人介護情報センター

2004 : 有限会社中川潤一建築設計事務所

2010 : いちかわTMO 3期修了

2011 : いちかわTMO アドバンスコース

<住まい>

→市川市大和田

→習志野市

→京都市

→船橋市

→市川市八幡



実体験 1：老人ホームやデイサービスの
の高齢者の方たちと、
レストランや公園に行くとき、
「行きやすい店」と
「行きにくい店」があります。



大門通商店街 Open Ovenさん

例えば、

- 入り口に段差、入りづらいドア
- 店、病院で長時間待たされる
- 車いすで入れないトイレ
- 見えにくい色使い etc



例えば、

- ・ 入り口に段差、入りづらいドア
- ・ 店、病院で長時間待たされる
- ・ 車いすで入れないトイレ
- ・ 見えにくい色使い etc



おもてなし街 project

きっかけ

行きにくい店がある

2012.1.30 中川潤一



実体験 2 : 数年前、美容室のリフォームの依頼が。。。



おもてなし街 project

きっかけ

行きにくい店がある

2012.1.30 中川潤一



物が散乱し、ゴチャゴチャした店でした。



おもてなし街 project

きっかけ

行きにくい店がある

2012.1.30 中川潤一



お金をかけずにスッキリさせました。
(総コスト180万円弱という通常の1/4位のコストのリフォーム)



おもてなし街 project

きっかけ

行きにくい店がある

2012.1.30 中川潤一

照明器具を変更し、
物は収納で隠しました。





その結果

→売り上げが **30%上昇**

→**客層も変化!**



僕は思いました。

「本当は行きたいのに、
ちょっとしたことで
人の、特に高齢者の足が遠のく店が多すぎる！
もっと人がお店に来る仕掛けがあるのに！」

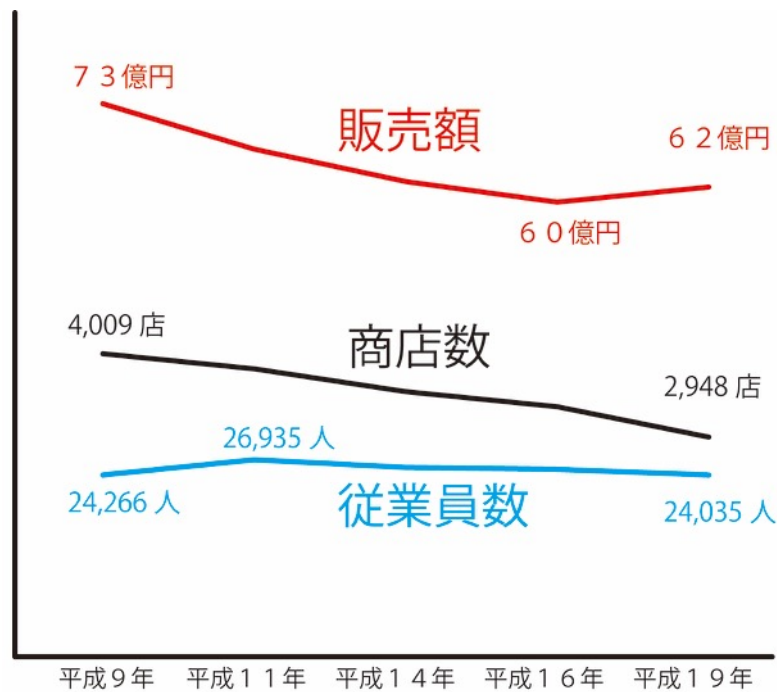


おもてなし街 project

それぞれの事情

2012.1.30 中川潤一

市川市の商店は衰退している。 また、その多くが個人商店である。



店舗の経営規模は小さく、従業員4人以下の店舗が全体の6割以上を占め、物販小売業の半数は個人経営となっている。

平成19年における小売業1店舗当たりの販売額は13,198万円県下平均を下回っている。

<市川市の商業>(市川市の商業統計調査より)



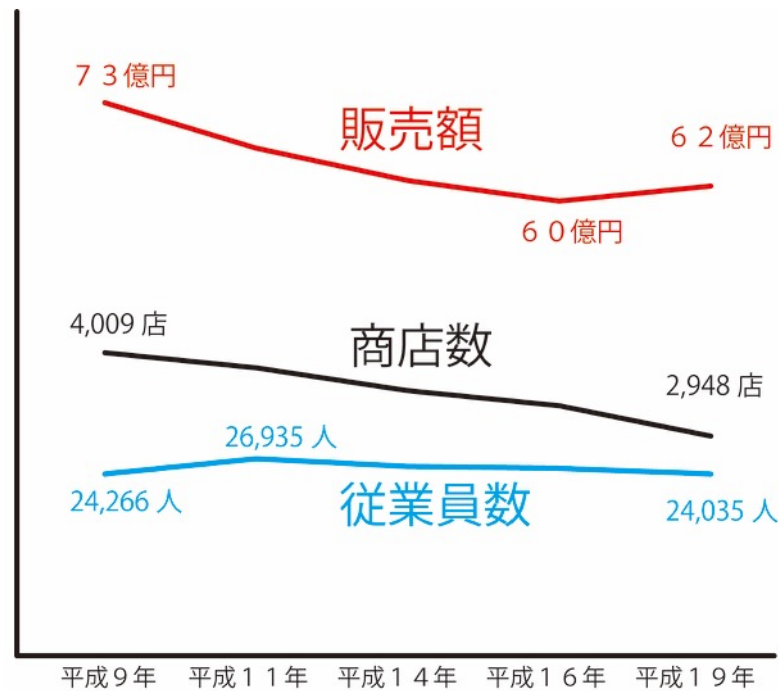
おもてなし街 project

それぞれの事情

2012.1.30 中川潤一

市川市の商店は衰退している。
また、その多くが個人商店である。

→みんなで連携出来ないか
集客のお手伝いができないか



店舗の経営規模は小さく、従業員4人以下の店舗が全体の6割以上を占め、物販小売業の半数は個人経営となっている。

平成19年における小売業1店舗当たりの販売額は13,198万円県下平均を下回っている。

<市川市の商業>(市川市の商業統計調査より)

 おもてなし街 project
 それぞれの事情
 2012.1.30 中川潤一

一方、市川市内の高齢者の数は
 増えている。

→お店に来てもらえないか

ex.高齢者の閉じこもりの問題

平成22年11月末日現在の高齢化率は16.8%と国と比較するとやや緩やかですが着実に高齢化が進行し、平成26年度には高齢化率は19.4%、市民の5人に1人が高齢者になると予測されています。市のHPより

年齢3区分別人口

		15歳未満	15～64歳	65歳以上	平均年齢
平成23年11月30日現在	人口	61,317	329,310	81,909	41.60歳
	構成比 (%)	13.0	69.7	17.3	
		15歳未満	15～64歳	65歳以上	平均年齢
平成22年11月30日現在	人口	62,030	333,110	79,865	41.19歳
	構成比 (%)	13.1	70.1	16.8	

(住民基本台帳と外国人数の合計)

1年で
 平均年齢
 約0.5%UP



1年で
 高齢者
 約0.5%UP

市川市ホームページ「年齢別人口」より



① <ハード面>

- お店のバリアフリー度診断
- 高齢者の方に喜ばれる場所、家具、食器などを勉強&提案

(ex.大空間より隙間的空間、

好まれるトイレの空間、

プライドを傷つけない什器etc)

- リノベーションの提案と実施

→簡単にできるバリアフリー

→場合によってはリフォームなど



② <ソフト面>

- “街力UPセミナー”開催
(ex.高齢者と話すコツ、バリアフリー、簡単な介護の知識と技術etc)
- 高齢者の方に喜ばれるサービスを提案
(ex.分かりやすいメニュー表示、ポケットティッシュ配布、食事会etc)

→介護資格の紹介や取得支援

→「シルバーが得するお店（仮称）」

“シル得”ステッカーの作成

ex.江戸川区のバリアフリーマップ



- 費用：人件費、実習などの費用、セミナー開催時の場所代
↑セミナー受講料を充てる
- 人材：
 - ・ 建築と介護に通じている人 →中川本人,建築家etc
 - ・ 介護分野の専門家 →介護士、相談員etc
 - ・ “街力UPセミナー”の受講者
 - ・ 賛同してくれる地域や商店の方々
- 場所：実際の商店や商店街、空き店舗、イベント会場、公園や道路などの公共空間



■ スケジュール

・ 短期的な展望

まずは市川市の大門通商店街や、
高齢者の集客アップを考えている店舗やイベントから開始

・ 長期的な展望

いずれは市川市だけでなく、
過疎化や集客力不足で悩む地方の商店やイベントの
お手伝いをしたい→過ごしやすい街を増やしていきたい。



「高齢者が過ごしやすいくて安心」
→ 「誰にとっても過ごしやすいくて安心」

高齢者が快適に生活できる街作りから始まって、
より多くの人々が快適に暮らせる街を
作っていききたい。